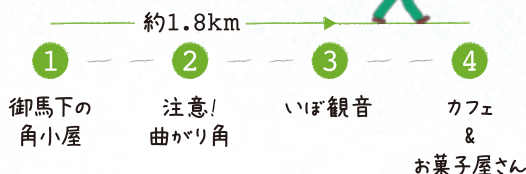


豊前街道 コース

みまげ 御馬下の角小屋～山伏塚
やんぼしつか

北区を南北に貫いている「豊前街道」ですが、今回は「御馬下の角小屋」から「山伏塚」まで歩く約5kmのコースを紹介しします。本来の豊前街道から、ちょっと寄り道したりと、見どころたくさんの散策コースです。

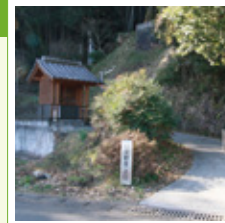
肥後熊本では、新町1丁目「札の辻」を起点とし、四街道（豊前・豊後・薩摩・日向）が整備され、このうち熊本城内・京町・植木・南関を経て豊前小倉に至る道を「豊前街道」と呼んでいたそうです。



1 御馬下の角小屋

質屋・酒屋で財を築いた江戸時代の庄屋・堀内家の住宅です。参勤交代で豊前街道を通る大名たちに休息所として利用されており、薩摩藩主島津斉彬と共に西郷隆盛も立ち寄ったと言われています。〈市指定文化財〉

【問合せ】096-245-2963 ◎産交バス：四方寄バス停すぐ



3 いば観音

建立は明治40年2月19日。観音像は一本彫りの座像で、脇に安置されている煤のついた座像は、以前火事になった古い本尊。参拝して供えてある水を持ち帰り「いば」に塗ると綺麗になると言われており、地元では「いば観音さん」と呼ばれています。

VIEW SPOT

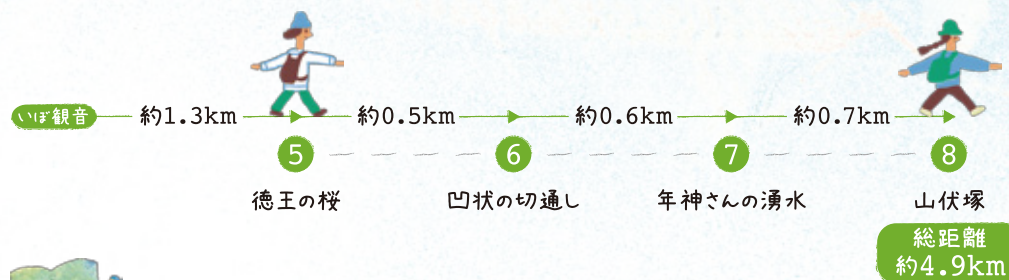
「いば観音」からの阿蘇

神社の階段を上ると、遠く阿蘇山が望める絶景スポット。気持ちの良い景色で心が洗われます。

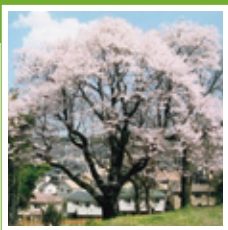


追分石

細川氏時代のもので、「是より左きとめ通きちしこまたかせへのみち」と彫っており、山鹿街道と高瀬街道（玉名）との分岐点だったそうです。また、この先には急坂「くれん坂」があり、加藤清正が横島新地の検分の往復に利用していた頃、帰りにここに差し掛かると日が暮れたので、このような呼び名がついたと言われています。



5 徳王の桜



エドヒガン桜としては県内最大級の巨桜。崖の縁に立っており、大きな花冠を突き出し、ピンク色の艶やかな姿を見せます。直径1mほどの幹は、地上から5本の支幹を放射状に大きく伸ばし、その上に豪華な花冠を作ります。
〈市指定文化財〉



7 年神さんの湧水

高平台小学校附近にある京町台地の東側斜面下の住宅街の中にある湧水。一帯は市条例で環境保護地区に指定され、美観風致が優れた環境です。
年神社が鎮座されており、古くから大切にされてきた土地の湧水は「熊本水遺産」として登録されています。



6 凹状の切通し

この道は切通しになっており、道の両側は崖のようになっています。これは加藤清正が、敵の侵入を防ぐために軍事上の道路として作った凹状の切通し道です。現在は「つつじ」が植えられ、春には花が咲き誇り、花と緑が通行人の目を楽しませます。

8 山伏塚



伝承では、加藤清正が熊本城築城の際に招いた龍蔵院という修験者を、秘密が洩れぬように殺して埋葬した場所とされています。〈市指定文化財〉

◎産交バス・都市バス：山伏塚バス停すぐ